

2001年度

Block 4 テュートリアル課題

課題番号 6

まだ歩かない



無断で複写・複製・転載すると著作権侵害となることがありますのでご注意ください。

小児科学 舟塚 真

近所に住んでいる和雄くんは、1歳8ヵ月の男の子です。会うとにこっと微笑んで、手を振ってくれます。ただ気になるのは、いつもお母さんにだっこをされているのです。お母さんに聞くと、「まだ歩こうとしないのよ。大丈夫かしら。」と心配していました。

抽出を期待する事項

- #運動発達の遅れ
- #乳幼児の正常発達

ある日、医学生である私は、お母さんに頼まれて、少しの間和雄くんの面倒をみることになりました。着替えの時、服を脱がせてみると、上体に比べて下肢がやや細く、足の蹴り方も弱いように感じました。また泣くと両手足に力が入り、特に下肢はピンと伸ばした状態になり、おむつを替えるのが大変でした。不意に足の裏が床につくと、足首がガクガクと数回けいれん様に動きました。言葉はよく出ていて、「パパ、ママ、ワンワン、マンマ」などの他、「プープー、きた」などの簡単な文章も最近出始めているようです。積み木で遊ぶのが大好きですが、積み重ねるのは苦手なようです。「オムツを取ってきて」と頼むと、ハイハイをして取りにいらしてくれました。

抽出を期待する事項

- # 下肢優位の筋力低下、筋萎縮
- # 下肢優位の筋緊張亢進、病的反射
- # 痙性両麻痺
- # 言語発達、社会性は正常
- # 上肢の微細運動の遅れの疑い

心配になったお母さんは、和雄くんを病院に連れていき診察してもらいました。実は、今までの乳児健診の時にも、その度に診察を受けるようにと勧められていたようです。先生は診察の後、幾つかの検査を受けるように勧めました。後日、頭部 MRI 検査を受け、その結果をお母さんは聞きました。先生は、脳から足に行く神経がどのように走っているかを図に書きながら、脳の中にある水分の入った部屋の周囲に異常があり、その為に足の動きが悪いこと、未熟児で生まれたことが原因のひとつであること、などを説明されたとのことでした。

抽出を期待する事項

- #乳児健診の内容
- #施行すべき諸検査
- #錐体路（皮質脊髄路）の解剖
- #脳室周囲白質軟化症
- #未熟児の脳の血管支配

診断を受けてしばらくは、泣いてばかりいたお母さんですが、最近は元気になって「障害をもつ子の親の会」に参加するようになりました。そこには和雄くんよりも、もっと重症のお子さんがたくさんいて、喉やお腹に穴が空いて管が通っている子や、鼻にチューブが入っている子、コルセットを巻いている子などがいました。お母さんはどうして、このようなことをしているのか、和雄くんにも必要なのか、と心配になりました。

抽出を期待する事項

#脳性麻痺児のケア、全身合併症